

「作曲家フルトヴェングラーを考える」

- 1) フルトヴェングラー作品研究の歩み
- 2) フルトヴェングラーの精神的バックボーン
家系を育んだ南ドイツの歴史的位置
父アドルフ・フルトヴェングラーと二人の家庭教師
彫刻家アドルフ・ヒルデブラントと「フィレンツェ体験」
- 3) 初期作品群にみる思想形成の反映
習作群
「ファウスト合唱曲」と「Te Deum」の占める位置
- 4) 作曲活動の空白とナチズム、それに続く戦後の作品
1930年代の一群の作品
交響曲第2番
交響曲第3番
- 5) 創造芸術（作曲）と再現芸術（演奏）の接点としての
フルトヴェングラー作品

一部画像・音声の不安定な部分がありますが、原テープの不具合につきご了承下さる様お願い致します。